



国民が必要とし  
消費する食料は、  
できるだけその国で  
生産する

# 国消 —こくしょうこくさん— 国産

生きるために欠かせない食料は  
日本で作ったほうが安心

新型コロナウイルスの感染が広がり始めた時、マスク不足が大きな問題になりました。もしこれが食料だったら。

いざという時、マスクのような工業製品は急いで作れますが、農地を耕し、自然と調和しながら、長い年月をかけて育まれる**農畜産物は、不足したからといってすぐに作れるわけではありません。**

## 日本の「食」をとりまく5つのリスク

### 食料自給率の低迷

食料の多くを  
輸入に頼っている

### 農業生産基盤の弱体化

農家の減少と高齢化、  
農地の減少が進む

### 多発する自然災害

世界と日本の農業に  
多くの災害が直撃

### 世界的な人口増加

世界の人口増加に  
よる食料不足

### 国際化の進展

輸入増加で食料  
自給率低下の可能性

日本の「食」は、  
今、さまざまなリスクに直面

今、日本の**食料自給率は過去最低水準**となる37%※に下がってしまいました。つまり、食料の6割以上を輸入に頼っていることになります。その大きな要因は、農家の減少や高齢化など、**生産基盤の弱体化**です。

さらに、日本も含めた世界中で**自然災害が多発**しています。もし、日本が多くの食料を輸入している国で自然災害などが発生し、食料生産が大幅に減少したら、日本の食生活にも大きな影響を及ぼしかねませんが、**食料の輸入は増加**しています。さらに、今後も**世界的な人口増加**が予測される中、これから先ずっと、食料を輸入し続けられるのかという懸念もあります。今、日本の「食」は、多くのリスクに直面しています。

※カロリーベース2020年 農林水産省による

こくしょうこくさん

「国消国産」で  
「食」の安心を次の世代に

こうしたなか、JAグループでは、**国民が必要とし、消費する食料は、できるだけその国で生産する、「国消国産」という考え方を提起**しています。私たちの毎日の「食」の安全はもちろんのこと、子どもや孫たちの世代にまで、この日本において、豊かな実りと、おいしい食卓を囲む笑顔が絶えることがないよう、「国消国産」は、これからの「食」にとって、大きな意義をもっています。



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

こくしょうこくさん

「国消国産」を实践しよう

<https://agri.ja-group.jp/foodsecurity/>





## 毎年5万人以上の農業従事者が減少！

### 基幹的農業従事者の推移



出典：農林水産省「農林業センサス」

国民が必要とし、消費する食料は、できるだけその国で生産する、  
こくしょうこくさん  
 「国消国産」を一人ひとりが実践することで国民の「食」を支える農家と農業を志す次の世代の後押しにつながります！

「国消国産」の実践は、食料生産だけでなく、「農業の多面的機能」を持続可能なものにし、「SDGsの達成」にも貢献！



農林水産省([https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo\\_kinou/img/zentai02.jpg](https://www.maff.go.jp/j/nousin/noukan/nougyo_kinou/img/zentai02.jpg))の図を加工



## 「国消国産の日」を制定！

JA全中は毎年10月16日を「国消国産の日」として制定し、日本記念日協会に登録しました。

1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日で1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日にあわせ、国民が必要とし、消費する食料はできるだけその国で生産するという「国消国産」への理解を広げることをめざします。

## 乃木坂46も「国消国産」を応援！

JAグループでは、「国消国産」への理解を深め、若者世代を中心に、日本の食や農業の現状を知ってもらうため、乃木坂46のメンバー7人によるメッセージ広告などを令和2年12月24日より展開しています。

【特設サイト】



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

こくしょうこくさん  
 「国消国産」を実践しよう  
<https://agri.ja-group.jp/foodsecurity/>

